

せたがや 町総連だより

第52号

発行 世田谷区町会総連合会

世田谷区若林4-31-9 ポライト第2ビル202

☎・FAX 5481-3456

発行人 会長 山野井 崇 二

編集 情報誌編集委員会

編集委員長 堀 江 義 之

あけましておめでとうございます

世田谷区町会総連合会 会長 山野井 崇 二



会員の皆様にはすこやかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃から、世田谷区町会総連合会の事業につきまして、格別のご理解とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大により、国の緊急事態宣言等の措置がなされ、世の中の暮らし方や社会状況が大きく変化した年でしたが、新しい年を迎えても未だに先が見えない状態です。日々の生活に不安を持ちながら過ごされている方々も大変多いと思われます。感染被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

現在、当総連合会には、195の町会・自治会が加入し、町会・自治会相互の親睦と協調関係の促進、情報交換や区と町会・自治会の連絡調整等を行っています。また、町会・自治会活動の活性化と加入促進に向けて、区と協力関係のもと様々な取組みを行っています。

このコロナ禍において、当総連合会の活動にも大きな影響を与えております。常任理事会等の役員会の書面開催や総会の書面決議、新年親睦交流会等、参集を伴う会議等は全て中止といたしました。しかし、このような状況下にお

かれましても、三密対策を施しながら防災訓練や避難所運営訓練、屋外での音楽イベント等を実施した町会・自治会もありました。創意工夫をこらした発想による活動が今、求められているように思われます。

いよいよ今年は、昨年延期となりましたオリンピック・パラリンピックイヤーを迎えました。当町会総連合会では、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けての気運醸成事業として、さりげない「おもてなし」をテーマに、オリンピックメダリスト等を迎えてのトークイベントを、平成29年から4回連続して実施して参りました。昨年の11月には、聖火リレートーチが区役所に展示されました。当総連合会といたしましても、コロナ感染対策を施した大会の成功に向けて大いに盛り上げていきたいと考えております。

今年も当総連合会は、会員相互で助け合い、「知り合い」「ふれ合い」「支えあい」の理念に基づき、「安全で安心な住みよい世田谷」を目指して参ります。

結びにこの1年の皆様のご健康をお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

新年挨拶

世田谷区長 保 坂 展 人



新しい年の始まりをおだやかに迎えられましたこととお慶びを申し上げます。

旧年中は、区政の推進にあたり、多大なるご尽力をいただきまして、誠にありがとうございました。

コロナ禍の中においても、町会・自治会の皆様には、地域交流、防災、交通安全、環境美化などの様々な活動で地域を支え続けていただいております。深く敬意を表します。

昨今はイベントやお祭りなどの催しの中止が続く中、昨年は、「たまがわ花火大会」などのイベントが中止になり、今後予定していた「せたがやポロ市」や「せたがや梅まつり」も中止となりました。コミュニティの意識を育てる機会に恵まれにくい状況にあるかと思っております。しかし、地域には、困難な状況が続く、不安な気持ちを持たれている方が多くいらっしゃいます。お互いに支え、励ましあうために地域の絆づくりが一層重要となっております。

世田谷区は、地域に密着した行政サービスと地域に即したまちづくりを展開するとともに、区政への住民参加を促進することを目的として、平成3年より地域行政制度を導入し、地区（まちづくりセンター）、地域（総合支所）、全区（本庁）の三層構造による地域行政により、区政への住民参加を促進し、なにより地域社会の発展に寄与するよ

う日々取り組んでおります。地域社会の発展のためには、行政だけでなく、町会・自治会の皆様や様々な地域団体の皆様に主体的に地域に参加していただくことが大切です。引き続きお力添えをよろしくお願いいたします。

さて、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、山野井会長には「世田谷おもてなし・交流・参加実行委員会」の委員として、開催に向けてご尽力いただいております。町会・自治会の皆様の機運醸成への取り組みに深く感謝申し上げます。

昨年11月には、聖火リレートーチが区役所で展示され、山野井会長とトーチを見る貴重な機会に恵まれました。7ヶ月後に迫った大会の機運を皆様とともに盛り上げていく決意を新たにいたしました。ごぞいませ。

感染防止対策と安全確保を第一に準備を進めてまいります。引き続きのご協力を何卒宜しくお祈り申し上げます。

結びに、世田谷区町会総連合会の益々のご発展と、会員の皆様にとりまして健康で幸多き一年になりますことを心からお祈り申し上げまして、新春のご挨拶とさせていただきます。

地域情報

砧 地 域

できることから少しずつ

祖師谷第三自治会 会長 権田 邦子

“組詩 祖師ヶ谷より”というすてきな詩があるのをご存じでしょうか。詩人の故 深尾須磨子氏が、住んでいた祖師谷を詠ったものです。それは、日本の代表的な指揮者の一人である故 山田一雄氏の作曲により歌曲にもなっています。

祖師谷は、昔から自然と文化の豊かな所だったことがその詩からうかがわれますが、今も自然が多く残り古さと新しさの混在する住みよい所です。

平成9年から始まった小田急線高架化複々線化工事と、円谷プロダクション・地域関係団体協力のもと平成17年に誕生した「ウルトラマン商店街」により、まち（特に祖師ヶ谷大蔵駅及び駅周辺）は大きく変化しました。ウルトラマンやカネゴン等が点在する活気あるその商店街を軸に、小田急線北側の東は環状八号線・西は仙川・北は千歳通りに囲まれたエリアが、祖師谷地区になります。

このエリアは、狭あい道路と木造住宅密集で災害時の被害が甚大な地域と予想されており、祖師谷地区町連に属する12町会・自治会は、単独や合同で特に防災に力を入れた取り組みを行っています。又、災害時には横の連携も大切と考え、日頃からコミュニケーションをとり仲良く交流しています。その一環で平成9年より始まった『祖師谷ふるさとフェスティバル』（今年度はコロナの影響で中止）



「歌声広場」での有志によるコーラス



防災訓練の様子

は、祖師谷が子どもたちのふるさとになるようにとの願いも込めて、小田急線北側の2商店会やまちの様々な活動団体と祖師谷地区町連が手を携えて継続開催している、まちの大きな行事です。しかし、高齢化・人の繋がり希薄化等ここ祖師谷地区も例外ではなく、人やまちがこれからどう向き合っていくか、地域コミュニティはどう維持していくか、大きな課題が横たわっています。

さて、12の町会・自治会の中で、駅に最も近い祖師谷1丁目・千歳台1丁目（いずれも一部を除く）に位置するのが、私ども祖師谷第三自治会です。

50年の長きにわたりご尽力くださった前会長のご勇退表明・急逝で、自治会に激震が走りました。何とか自治会の存続をと多くの方々のご助力により臨時総会を経て再始動、まさかの会長就任から3年程経ちました。まだまだ新米ですが、まちや自治会がどういう状況にあり、それに対して自治会としてどうしたらよいか等情報や課題を共有することが大切と考え、自治会だより『糸』を発行しています。会員の方から声をいただいたり、一緒に活動してくださる方も少しずつ増えて、大変心強く嬉しく感じています。一方で課題はたくさんあり、どのようにしていったらよいか悩むこと

も少なくありません。

今年度はコロナ禍で、本来の“繋がる・ふれあう”事業が殆んどできない状況でもどかしいですが、安全・安心で住みやすい、いざという時に助け合

える温かくてやさしい地域・自治会を日指して、諸先輩方のアドバイスもいただきながら、チームワーク良く、できることから少しずつ取り組んでいきたいと思っております。

烏山地域

自治会活動について

祖師谷橋自治会 会長 原 島 十 一

当自治会の地域は田園地帯でしたが、新興住宅分譲地として開発され、居住者が増えて自治会も発足し50余年がたちました。

発足当初は役員が少人数でありましたが、現在は25名程で活動しております。

自治会の「活動基本方針」として、

- (1)災害や事故から暮らしを守り、高齢者や子どもを含む全会員とその家族が安心して暮らせるまちづくりを目指します。
- (2)雨水処理やゴミ問題対策、仙川ならびに遊歩道を含むまちの環境整備に取り組み、健康で明るいまちづくりを目指します。
- (3)各種の行事を通じ、会員相互の交流を深め、気軽に話し合えるまちづくりを目指します。
- (4)行政や関係機関、他の自治会・町会とも連携しながら、自治会活動を進めます。

上記(1)～(4)の「活動基本方針」に基づき役員が一丸となって活動を行っています。

防災活動としてD級ポンプを使って、毎月第3日曜日に区民消防隊が仙川から吸水し放水訓練を実施しています。

今年度は班長改選の年ですが、コロナウイルスの影響のため、総会を開催することができず、書面にて活動報告・決算予算報告等の賛否を採り、新旧班長60名の賛同を得ました。

総会を開催できないため、新班長と役員の間が相互で判らず支障をきたしています。

一部の班長からはコロナ禍の中、自治会費や回覧を行うのはどうかという意見もありましたが、協力をお願いして各班長が会費の集金や回覧板を回して会員相互の交流を深めています。

自治会ニュースは活動毎に発行していましたが、今年度は発行回数は少ないですが発行を継続しています。

例年であれば自治会活動大イベントの「親睦交流会」に200人程の参加者が集い、餅つきやバーベ



「親睦交流会」餅つきの様子

キュー等で会員相互の交流を深めていましたが、今年中止になり会員からは楽しみにしていたのに残念という声が聞こえています。

当自治会は315世帯程と小規模ですが、会員の方たちの世代交代もあり、自治会活動に関心を持っている若い世代の会員が増え、各種活動に多数参加しています。



「親睦交流会」子どもゲームの様子

町総連ニュース

表彰

- ▼令和2年10月1日
東京都功労者表彰
三羽 和彦 副会長 (桜新町親和会会長)
西崎 守 副会長 (祖師谷住宅自治会会長)
田中 博光 常任理事 (豪徳寺1丁目町会会長)

- ▼令和2年11月13日
厚生労働大臣表彰
池上 義正 常任理事 (弦巻町会会長)

※次号は世田谷地域・北沢地域・玉川地域の情報を掲載します。

◎町総連情報誌編集委員会名簿

役職名	氏名	所属町会・自治会名
委員長	堀江 義之	若林町会
委員	網敷 光剛	弦巻町会
〃	萩原 一俊	代沢4丁目西町会
〃	上野 民雄	北沢中央自治会
〃	阿部 平四郎	馬事公苑前ハイム管理組合
〃	栗原 幹雄	祖師谷千歳台自治会
〃	萩野 壽一	岡本自治会
〃	高橋 宗和	成城通りパークウエスト自治会
〃	松尾 秀好	児ヶ谷会

編集後記

新しい年がスタートしました。昨今の今頃、まさか世の中を一変させるような事態がおこり、現在のような状況になるとは、誰も想像していなかったと思います。

COVID-19 (新型コロナウイルス) の感染拡大で、世の中はパンデミック (世界的大流行) に陥りました。

昨年7月に行なわれる予定だった東京オリンピック・パラリンピックも延期となり、私たちの生活様式もガラッと変わりました。

感染拡大防止のため、町会・自治会の活動も制約され、各種イベントも次々に中止せざるを得ない状態ですが、こんな時だからこそ地域の中で孤立する人が出ないように、お互いに励まし合い・支え合い・絆を育てていく町会・自治会の活動が大事になってくると思います。ウィズコロナの時代に適した活動が模索されます。

この「世田谷町総連だより」で紹介される町総連ニュースや地域情報が、各地域での活動に少しでも参考になれば幸いです。

編集委員 栗原 幹雄

世田谷区町会総連合会のホームページ

世田谷区町会 検索

※QRコード



バーコードの一種で、携帯電話で撮影して、簡単にホームページを見ることができます。